

アジアにおける鉄鋼業の発展と変容

佐藤 創 編

2007 年 3 月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所

まえがき

本調査研究報告書は、アジア経済研究所が実施している「アジアにおける鉄鋼産業の発展と変容」研究会（2006～2007年度）の成果の一部であり、初年度の中間報告をとりまとめたものである。本研究会は2年間の研究期間を予定しており、最終的には、第1に、アジアの開発途上国における鉄鋼業の技術・発展段階や貿易パターンなど現状把握をすること、第2に、その発展・変容のメカニズムを分析すること、第3に、鉄鋼業の一国経済の中の開発戦略・経済発展との関わりを考察すること、第4に、以上をもとに各国の比較検討を試みることを目指している。本報告書は、上記第1の目的である現状把握を中心にとりまとめたもので、来年度さらに現地調査や分析・研究の枠組みの議論を進めた上で、本報告書を下敷きとして最終報告書を出版する予定である。皆様の率直なご意見・ご批判を乞うしだいである。

研究会の構成メンバーは以下のとおりである。

主査・幹事	佐藤 創	（アジア経済研究所・開発研究センター）
内部委員	安倍 誠	（同・新領域研究センター）
	佐藤幸人	（同上）
外部委員	石上悦朗	（福岡大学商学部教授）
	川端 望	（東北大学大学院経済学研究科助教授）
	杉本 孝	（大阪市立大学大学院創造都市研究科教授）
オブザーバー	佐藤百合	（アジア経済研究所・地域研究センター）
	鈴木有理佳	（同上）
	星野妙子	（同上）
	熊谷 聡	（同・新領域研究センター）
	寺尾忠能	（同上）

なお、本年度の研究会においては、合同製鐵株式会社（船橋製造所）、産業振興株式会社（関東スクラップセンター）には工場見学のをいただき

懇切なご説明を賜り、また、戸田弘元氏（東南アジア鉄鋼協会終身フェロー／名誉会員）、林誠一氏（（株）鉄リサイクリング・リサーチ代表取締役）には講師として研究会においでいただき貴重なご教示を賜った。また、本年度に実施したアジア各国での現地調査においては、新日本製鐵株式会社、J F E スチール株式会社両社の本社およびアジア各国現地法人には、ヒヤリング調査に多大なご協力を賜り、そのほか少なからぬ日本企業、日系企業および地場企業を訪問させていただき、工場見学やインタビューを通じて貴重なお話を賜った。また、日本鉄鋼連盟には、委員のレファレンスに快く応じていただき、また所蔵資料などの閲覧、借覧にご助力いただいた。紙幅の都合上、お世話になったすべての方々のお名前をあげることはできないものの、この場を借りてご協力・ご助力をいただいた多くの方々に記して心より御礼申し上げます。

2007年3月

編者

目次

序章	研究会の目的と背景 －世界の鉄鋼業とアジア－	佐藤創…… 1
第1章	鉄鋼業の技術革新	杉本孝…… 23
第2章	韓国鉄鋼業の成長と展開 －1990年代以降の拡大と通貨危機後の再編を中心に－	安倍誠…… 67
第3章	台湾の鉄鋼業 －発展の概要と研究の課題－	佐藤幸人…… 91
第4章	インド鉄鋼業の発展と変容 －国家主導から内外企業主導へ－	石上悦朗…… 113
第5章	マレーシアの鉄鋼業 －発展の概要と研究の課題－	佐藤創…… 143
第6章	ベトナムの鉄鋼業 －新局面と政策転換－	川端望…… 173